



高原町制施行 90 周年記念事業

高原町 町勢要覧

【資料編】

【目 次】

高原町の自然・位置・アクセス	…	1 P
高原町の観光地及び観光施設・イベント	…	2 P
高原町の人口統計	…	3～6 P
高原町の生活環境	…	7 P
高原町の消防・防災・防犯	…	8 P
高原町の保健(陰)・福祉・医療	…	9 P
高原町の産業	…	10～11 P
高原町の学校教育・社会教育	…	12 P
高原町の文化財	…	13 P
高原町の議会	…	14～15 P
高原町の行財政	…	16～19 P
高原町の主なあゆみ	…	20～28 P
高原町民憲章		

高原町マップ

【沿革】

江戸時代は高原郷と呼ばれ、薩摩藩の支配下にあったが、明治維新後の廃藩置県により鹿児島県・都城県を経て宮崎県に属した。

明治22年の町村制で麓・広原・蒲牟田・後川内の4村が合併して高原村となり、昭和9年に高原町となった。



高原町の自然・位置・アクセス

【地勢】

高原町は宮崎県の西南部、霧島錦江湾国立公園を境に鹿児島県と接する自然に囲まれた静かな山あいには位置しています。霧島連山からの豊富な水、活火山との共生、『天孫降臨』や『初代天皇神武天皇ご生誕の地』にまつわる神話や史跡などがある町です。

【気象】 令和 5 年

年間降雨水量は 3297.0mm、平均気温は 17.6℃と温暖な気候に恵まれています。

資料：気象庁ホームページ 観測地点：小林市

【位置】

役場の所在地

〒889－4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 899 番地

北緯 31 度 55 分 42 秒、東経 131 度 0 分 28 秒 海拔 211m

【地目別面積】

(単位：ha、%)

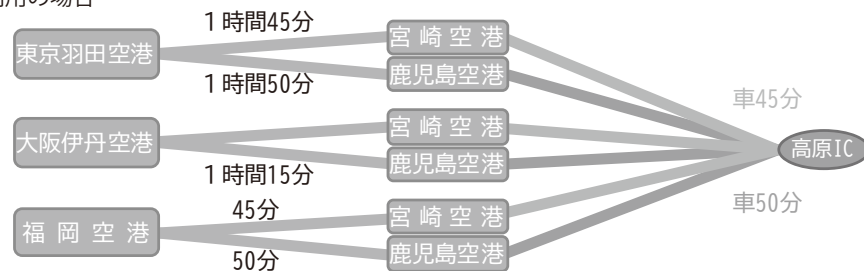
地目 区分	総面積	農用地		森林		宅地	その他
		田	畑	国有林	民有林		
面積	8,539	927	1,413	2,000	2,185	479	1,535
構成比	100	10.9	16.5	23.4	25.6	5.6	18.0

資料：宮崎県統計年鑑（宮崎県統計調査課）

※国土交通省国土地理院令和 6 年 1 月 1 日時点における全国都道府県市区町村別面積調による本町の面積は、85.39平方キロメートルです。

高原町へのアクセス

飛行機の利用の場合



電車利用の場合



自家用車・レンタカー利用の場合



高原町の観光地及び観光施設・イベント

高千穂峰

霧島山の南西に位置している秀峰で、高さは1,574メートルあります。頂上には、ニニギノミコトが降臨したときに突き立てられたといわれている『天之逆鉾』があり、霧島東神社の社宝として古くから信仰の対象となっています。

御池

神武天皇が幼少期に湖畔で遊んでいたという伝説が残っている日本一の深さを誇る火口湖です。水深はなんと103メートルあります。

狭野神社

第5代孝昭天皇の時代に創建されたと云われている霧島六所権現の一社です。

第2鳥居から本殿までの参道沿いにある巨大な杉が並ぶ杉並木は圧巻で、『狭野の杉並木』として国指定の天然記念物となっています。

皇子原公園

神武天皇御生誕の地に創建されたと伝えられている皇子原神社を中心として整備されている自然公園です。春には桜が満開になり、秋には彼岸花が咲き誇る等四季折々の景色が楽しめます。園内には、コテージ等があり宿泊することもできます。

たかはる清流らんど

高崎川の上流部分に作られた『たかはる清流らんど』は、夏になると川で遊ぶ親子連れが多くみられます。

霧島東神社

第10代崇神天皇の時代に創建されたと云われており、狭野神社と同じく霧島六所権現の一社です。

高千穂峰の山頂を飛地境内とし、山頂の天之逆鉾は当神社の社宝として祀られています。本殿には、寛文6年（1666年）に島津光久より奉納された扁額があります。

御池キャンプ村

国立公園内にある『御池キャンプ村』は、日本で最初の国立公園である霧島錦江湾国立公園の一角にある湖『御池』の湖畔にあります。コテージなども完備されており、近くにある御池野鳥の森の散策など自然の中でのキャンプが楽しめる場所です。

御池皇子港

『御池野鳥の森公園キャンプ村』から御池を挟み反対側にあります。

ボート乗り場もあり、御池を間近に見れるスポットです。また、タイミングが良くと高千穂峰が鑑のように御池の水面に写る様を見ることができます。

霞神社

もともと馬頭観音が祀られていましたが、江戸時代には丘の岩に5色の蛇が住むと云われ、霧島六所権現の使いとされたことから、参拝する人々がいました。ちなみに宮崎県で一番長い石段があり、約700段あります。その石段を上った先にある絶景を求めて上る人もいます。

【観光客】

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
観光客数	751,794	697,582	622,081	674,083	851,504
宿泊者数	16,762	7,158	8,141	14,747	14,777

資料：観光入込客統計調査

高原町のイベント

- 高千穂峰山開き 4月第2土曜日
- 御田植祭（棒踊り・奴踊り） 5月16日
- 後川内まつり 8月14日
- 霧島登山マラソン 10月第2日曜日
- 日本発祥地まつり 10月第3日曜日
- 狭野神楽（高原の神舞） 12月第1土曜日
- 祓川神楽（高原の神舞） 12月第2土曜日
- 苗代田祭（ベブがハホ） 2月18日

高原町の人口統計

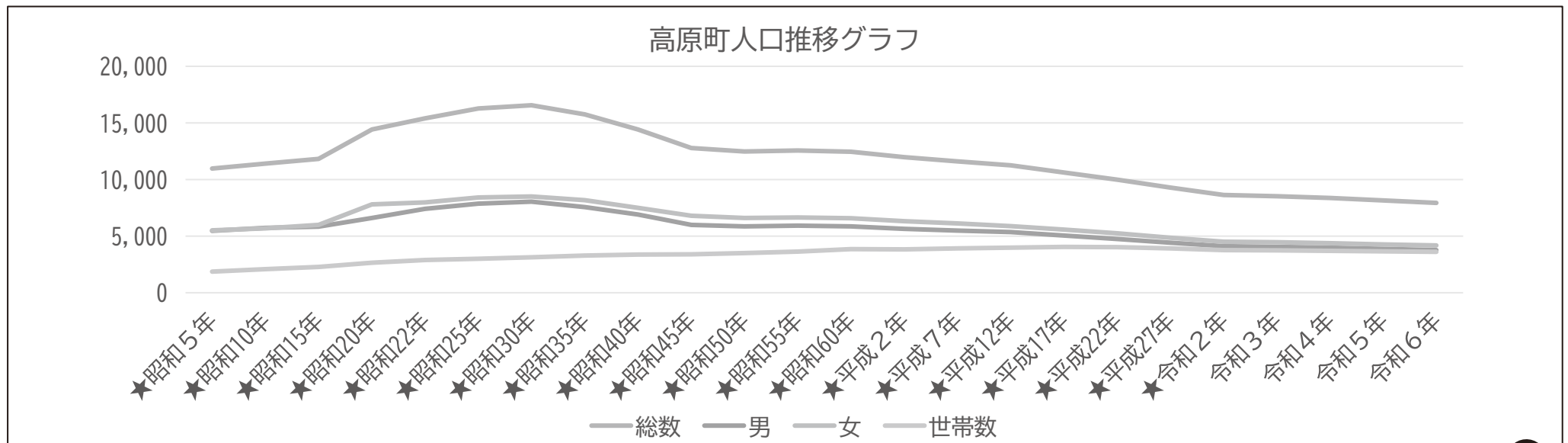
【人口と世帯】

人口は、昭和 30 年をピークに減少しています。

世帯数は、平成 17 年まで増加していましたが、それ以降は減少しています。

年次	人口（人）			世帯数 （戸）	年次	人口（人）			世帯数 （戸）	年次	人口（人）			世帯数 （戸）
	総数	男	女			総数	男	女			総数	男	女	
★昭和 5 年	10,972	5,464	5,508	1,863	★昭和40年	14,435	6,923	7,512	3,368	★平成17年	10,623	5,049	5,574	4,063
★昭和10年	11,423	5,735	5,688	2,085	★昭和45年	12,798	6,003	6,795	3,409	★平成22年	10,000	4,743	5,257	4,030
★昭和15年	11,837	5,835	6,002	2,278	★昭和50年	12,476	5,877	6,599	3,498	★平成27年	9,300	4,428	4,872	3,914
★昭和20年	14,419	6,602	7,817	2,650	★昭和55年	12,579	5,924	6,655	3,629	★令和 2 年	8,639	4,127	4,512	3,763
★昭和22年	15,420	7,425	7,995	2,886	★昭和60年	12,455	5,862	6,593	3,866	令和 3 年	8,526	4,062	4,464	3,750
★昭和25年	16,289	7,867	8,422	3,012	★平成 2 年	11,984	5,653	6,331	3,829	令和 4 年	8,370	3,998	4,372	3,711
★昭和30年	16,567	8,056	8,511	3,140	★平成 7 年	11,619	5,491	6,128	3,932	令和 5 年	8,169	3,889	4,280	3,658
★昭和35年	15,751	7,580	8,171	3,279	★平成12年	11,254	5,361	5,893	3,989	令和 6 年	7,945	3,760	4,185	3,617

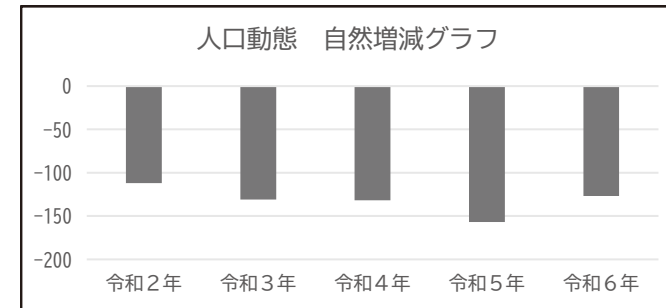
※★印のついているものは国勢調査参照。★印以外は 10 月 1 日現住人口 ※人口総数には年齢不詳を含む。



【人口動態】

《自然増減：出生・死亡》 1月1日～12月31日まで

年次	出生			死亡			自然増減
	計	男	女	計	男	女	
令和2年	44	24	20	156	76	80	-112
令和3年	38	18	20	169	95	74	-131
令和4年	45	26	19	177	82	95	-132
令和5年	36	16	20	193	99	94	-157
令和6年	33	15	18	160	90	70	-127



《社会増減：転入・転出》 1月1日～12月31日まで

年次	転入				転出				社会増減
	計	県内	県外	その他	計	県内	県外	その他	
令和2年	248	156	91	1	288	177	106	5	-40
令和3年	280	164	116	0	266	164	97	5	14
令和4年	224	121	103	0	267	168	93	6	-43
令和5年	191	124	67	0	261	157	98	6	-70
令和6年	206	114	92	0	282	187	93	2	-76

資料：現住人口調査

【年齢3区分人口及び構成比】

年度	総数	年少人口（0～14歳）				生産年齢人口（15～64歳）				老年人口（65歳～）			
		総数	男	女	構成比	総数	男	女	構成比	総数	男	女	構成比
平成22年	10,000	1,152	625	527	11.5	5,495	2,785	2,710	55.0	3,351	1,331	2,020	33.5
平成27年	9,300	997	528	469	10.7	4,843	2,455	2,388	52.1	3,460	1,445	2,015	37.2
令和2年	8,639	932	490	442	10.8	4,066	2,033	2,033	47.1	3,641	1,604	2,037	42.1
令和3年	8,526	932	485	447	10.9	3,945	1,977	1,968	46.3	3,649	1,600	2,049	42.8
令和4年	8,370	916	481	435	10.9	3,834	1,912	1,922	45.8	3,620	1,605	2,015	43.2
令和5年	8,169	893	470	423	10.9	3,680	1,825	1,855	45.0	3,596	1,594	2,002	44.0
令和6年	7,945	843	444	399	10.6	3,522	1,747	1,775	44.3	3,580	1,569	2,011	45.1

※総数には年齢不詳を含む。

資料：平成22年から令和2年までは国勢調査、令和3年から6年までは現住人口調査

【地区別人口】

区名	平成22年				平成27年						令和2年					
	総数	男	女	世帯数	総人口		性別		世帯		総人口		性別		世帯	
					総数	比較 (対平成22年)	男	女	世帯数	比較 (対平成22年)	総数	比較 (対平成22年)	男	女	世帯数	比較 (対平成22年)
	10,000	4,743	5,257	4,042	9,300	△ 700	4,428	4,872	3,914	△ 128	8,639	△ 1,361	4,127	4,512	3,763	△ 279
花 堂 区	396	188	208	163	362	△ 34	182	180	153	△ 10	323	△ 73	161	162	151	△ 12
蒲 牟 田 区	520	260	260	211	439	△ 81	220	219	188	△ 23	388	△ 132	194	194	181	△ 30
北 狭 野 区	320	153	167	131	282	△ 38	140	142	127	△ 4	275	△ 45	141	134	126	△ 5
南 狭 野 区	358	162	196	155	317	△ 41	143	174	150	△ 5	300	△ 58	137	163	141	△ 14
祓 川 区	162	76	86	77	145	△ 17	66	79	67	△ 10	128	△ 34	58	70	64	△ 13
湯 之 元 区	368	141	227	125	352	△ 16	151	201	124	△ 1	284	△ 84	122	162	114	△ 11
中 平 区	195	91	104	80	165	△ 30	80	85	76	△ 4	150	△ 45	79	71	67	△ 13
上後川内区	558	275	283	207	525	△ 33	259	266	205	△ 2	454	△ 104	222	232	191	△ 16
下後川内区	411	198	213	154	367	△ 44	177	190	147	△ 7	312	△ 99	162	150	140	△ 14
川 平 区	78	38	40	37	63	△ 15	32	31	33	△ 4	52	△ 26	31	21	26	△ 11
西 広 原 区	330	161	169	135	305	△ 25	150	155	135	0	265	△ 65	137	128	129	△ 6
上 広 原 区	482	226	256	205	464	△ 18	216	248	204	△ 1	422	△ 60	193	229	187	△ 18
下 広 原 区	908	452	456	323	840	△ 68	410	430	326	3	779	△ 129	373	406	313	△ 10
上 麓 区	1,074	487	587	479	1,061	△ 13	485	576	461	△ 18	1,020	△ 54	480	540	463	△ 16
下 麓 区	757	351	406	324	724	△ 33	343	381	321	△ 3	664	△ 93	326	338	307	△ 17
出 口 区	634	307	327	266	560	△ 74	276	284	260	△ 6	515	△ 119	253	262	242	△ 24
鹿 児 山 区	625	319	306	243	526	△ 99	261	265	228	△ 15	462	△ 163	213	249	206	△ 37
並 木 区	1,545	721	824	620	1,547	2	716	831	605	△ 15	1,598	53	728	870	612	△ 8
小 塚 区	93	41	52	46	83	△ 10	33	50	42	△ 4	89	△ 4	34	55	45	△ 1
常 盤 台 区	186	96	90	61	173	△ 13	88	85	62	1	159	△ 27	83	76	58	△ 3

資料：国勢調査

【産業別就業者（15歳以上）人口】

区分	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	総数(人)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)
	5,708	100	5,467	100	5,037	100	4,653	100	4,054	100
第1次産業	1,636	28.7	1,613	29.2	1,396	27.7	1,144	24.6	843	18.1
農業	1,620	28.4	1,595	0.3	1,359	27.0	1,111	23.9	812	17.5
林業・狩猟業	13	0.2	14	0.1	36	0.7	30	0.6	31	0.7
漁業・水産養殖業	3	0.1	4	24.6	1	0.0	3	0.1	0	0.0
第2次産業	1,586	27.8	1,344	0.1	1,112	22.1	987	21.2	935	20.1
鉱業	17	0.3	7	10.8	7	0.1	3	0.1	2	0.0
建設業	809	14.2	590	13.7	429	8.5	381	8.2	353	7.6
製造業	760	13.3	747	45.7	676	13.4	603	13.0	580	12.5
第3次産業	2,485	43.5	2,500	11.9	2,515	49.9	2,514	54.0	2,276	48.9
卸売・小売業	708	12.4	650	0.9	604	12.0	513	11.0	448	9.6
金融・保険業	51	0.9	51	0.3	53	1.1	54	1.2	37	0.8
不動産業	11	0.2	16	2.6	26	0.5	20	0.4	17	0.4
運輸・通信業	176	3.1	141	0.1	162	3.2	159	3.4	140	3.0
電気・ガス・水道業	13	0.2	3	26.9	12	0.2	5	0.1	6	0.1
サービス業	1,306	22.9	1,468	3.1	1,496	29.7	1,582	34.0	1,410	30.3
公務	220	3.9	171	0.2	162	3.2	181	3.9	218	4.7
分類不能の産業	1	0.0	10	0.0	14	0.3	8	0.2	0	0.0

資料：国勢調査

【農家人口と農業就業人口】

	農業従事者			農業就業人口		
	総数	男	女	総数	男	女
平成17年	2,435	1,308	1,127	1,709	852	857
平成22年	2,018	1,102	916	1,472	772	700
平成27年	1,563	850	713	1,141	625	516
令和2年	951	541	410	698	406	292

資料：農林業センサス

高原町の生活環境

【町営住宅（公営住宅）】

(単位：戸)

団地名	建設年度	構造	管理戸数
柳町団地	昭和44年	簡耐平屋	8
二葉町団地	昭和45・50年	簡耐平屋	22
下村移団地	昭和51・52年	簡耐平屋	12
鹿児山団地	昭和53・57・58・61年	簡耐平屋、簡耐・木造2階	58
並木団地	昭和55・56年	簡耐2階	26
後川内団地	平成7・12年	木造平屋	12
霧島団地	平成14・18年	鉄筋コンクリート4階	64
合計			202

資料：建設水道課

【町営住宅（定住促進住宅）】

(単位：戸)

団地名	建設年度	構造	管理戸数
広原定住促進住宅	令和元年・2年	木造平屋	4
合計			4

資料：建設水道課

【道路の整備状況】

令和6年4月1日現在

		路線数	実延長(km)	改良済		舗装済	
				延長(km)	改良率(%)	延長(km)	舗装率(%)
一般国道		2	12,033	12,033	100.0	12,033	100.0
県道		6	35,018	24,959	71.3	35,018	100.0
町道	1級町道	15	34,045	33,371	98.0	34,045	100.0
	2級町道	20	32,585	22,975	70.5	32,585	100.0
	その他	484	239,769	134,226	56.0	222,877	93.0
合計		527	353,450	227,564	64.4	336,558	95.2

資料：建設水道課

【公共交通】

J R吉都線（吉松駅～都城駅）

※町内には高原駅と広原駅の2か所の駅があります。

乗合タクシー

後川内線（東原～ほほえみ館） 火曜日・金曜日・土曜日 1日2往復

小久保線（鹿児山方面～ほほえみ館） 月曜日・木曜日・金曜日 1日1往復

湯之元蒲牟田線（川原口～LaLaきりしま） 水曜日・土曜日 1日1往復

常盤台線（常盤台方面～LaLaきりしま） 月曜日・木曜日 1日1往復

広原線（広原方面～LaLaきりしま） 月曜日・水曜日 1日1往復

※令和7年4月1日からは町内全域予約型のデマンド方式となります。

路線バス（都城小林線）

※町内には、馬登、高原、後谷の3か所の乗り場があります。

広域的バス路線

高原役場線（小林駅～広原～高原町役場前） 1日1往復

祓川線（小林駅～広原～高原町役場前～祓川） 1日3往復

※令和7年4月1日からは小林並木線（小林駅～並木）1日4往復となります。

資料：総合政策課

【水道施設の状況】

令和6年4月1日現在

区分	施設数
町営上水道	1
飲料水供給施設	2
総数	3

資料：建設水道課

高原町の消防・防災・防犯

【消防団機構図】



【消防施設等】

消防車：8台 資機材車：2台 可搬動力：3台
消火栓：241 か所 防火水槽（40トン以上）：108 か所

【事故種別救急出動状況】

(単位：件)

区分 年	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
令和元年	0	0	1	32	2	7	61	0	4	271	42	0	0	1	421
令和2年	0	0	0	39	7	6	82	1	11	285	60	0	0	2	493
令和3年	1	0	1	50	7	2	103	0	6	338	79	0	0	1	588
令和4年	1	0	0	33	6	3	94	1	9	440	86	1	0	2	676
令和5年	0	0	0	62	3	4	72	5	6	530	60	0	0	2	744

※高原分遣所の出動

資料：西諸広域行政事務組合（消防年報）

【火災発生状況】

(単位：件)

区分 年次	建物	林野	車両	その他	合計
令和元年	2	1	1	2	6
令和2年	3	1	3	4	11
令和3年	8	0	0	6	14
令和4年	1	0	1	4	6
令和5年	3	0	2	4	9

※高原分遣所に関する火災

資料：西諸広域行政事務組合（消防年報）

【小林警察署高原駐在所】

場 所	宮崎県西諸県郡高原町大字西麓872番地1
駐在員数	2人

資料：総務課

高原町の保健（険）・福祉・医療

【町内医療施設】

病院		医院		歯科医院
施設数	病床数	施設数	病床数(介護医療院含む)	
1	40	2	17	3

※令和6年4月1日現在。

資料：健康課

【国民年金加入状況】

(単位：人)

区分 年次	被保険者				保険料免除者						付加 年金 加入者
	総数	第1号	任意	第3号	総数	法定	申請	学生	納付猶予	産前産後	
令和元年	1,209	902	13	294	455	154	186	75	38	2	56
令和2年	1,167	858	8	301	422	146	179	65	32	-	52
令和3年	1,171	880	9	282	439	153	168	84	33	1	56
令和4年	1,115	856	10	249	427	141	158	87	41	-	55
令和5年	1,029	772	12	245	390	132	144	71	42	1	52

資料：厚生労働省（市区町村別適用状況）

【国民年金給付状況】

(単位：人・千円)

区分 年次	高齢基礎年金		障害基礎年金		遺族基礎年金	
	件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額
令和元年	3,680	2,566,519	307	265,270	21	14,723
令和2年	3,677	2,577,188	293	253,638	30	21,293
令和3年	3,707	2,596,654	298	257,883	27	19,036
令和4年	3,664	2,561,514	289	248,351	25	17,428
令和5年	3,657	2,610,265	277	243,849	24	17,330

資料：厚生労働省（市町村別給付状況）

【介護保険者数 給付状況】

(単位：人・円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第1号被保険者数	3,724	3,724	3,739	3,703	3,698
要介護認定者数	585	570	574	599	590
保険給付費	1,073,666,906	1,073,929,332	1,091,264,395	1,075,056,573	1,074,111,197

資料：介護保険事業報告年報、第9期介護保険事業計画

【国民健康保険高原病院】

(単位：人)

職員数				病床数	令和5年度1日平均	
総数	医師	看護・准看護師	その他		入院患者数	外来患者数
66	2	32 (9)	32 (21)	40	29.3	76.6

※令和6年4月1日現在。（ ）内は、臨時・パート職員数

資料：国民健康保険高原病院

【国民健康保険加入状況】

(単位：世帯・人)

年度	世帯数	被保険者
令和元年度	1,687	2,698
令和2年度	1,630	2,592
令和3年度	1,595	2,514
令和4年度	1,553	2,409
令和5年度	1,475	2,255

※年度平均

資料：町民課

【後期高齢者医療保険 被保険者数】

(単位：人)

年度	被保険者数
令和元年度	2,045
令和2年度	2,008
令和3年度	1,960
令和4年度	1,952
令和5年度	1,986

資料：町民課

【町内保育所数】

保育園（認可外含む）	こども園（休園含む）
5	2

資料：健康課

高原町の産業

【町内総生産の推移】

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内総生産 (百万円)	24,122	23,965	25,802	25,253	25,748
就業者数 (人)	3,648	3,601	3,434	3,403	3,371
就業者1人あたりの総生産 (千円)	6,612	6,655	7,415	7,421	7,638
第1次産業町内総生産 (百万円)	3,055	2,603	3,191	3,096	3,253
第2次産業町内総生産 (百万円)	4,809	5,211	6,026	5,778	5,759
第3次産業町内総生産 (百万円)	16,110	15,982	16,429	16,247	16,554

資料：宮崎県の市町村民経済計算（宮崎県統計調査課）

【経済活動の種類】

経済活動の種類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農業	2,898	2,496	3,035	3,002	3,078
林業	156	105	154	92	174
水産業	1	1	1	1	1
鉱業	68	84	144	110	197
製造業	2,087	2,583	3,242	2,167	2,703
電気・ガス・水道業	742	719	744	683	643
建設業	2,654	2,544	2,639	3,501	2,860
卸売・小売業	1,439	1,407	1,385	1,304	1,345
運輸・郵便業	1,063	1,113	1,187	929	1,048
宿泊・飲食サービス業	298	278	238	118	110
情報通信業	558	591	620	688	695
金融・保険業	223	210	195	181	184
不動産業	2,184	2,054	2,065	2,069	2,148
専門・科学技術・業務支援サービス業	1,180	1,168	1,136	1,092	1,084
公務	4,206	4,208	4,597	4,879	4,921
教育	1,051	1,070	1,039	1,089	1,127
保健衛生・社会事業	2,587	2,606	2,666	2,692	2,739
その他のサービス	580	558	559	523	513

資料：宮崎県の市町村民経済計算（宮崎県統計調査課）

【事業所数・従業者数製造出荷額等、付加価値額、現金給与総額】

年度	事業所数	従業者数 (人)	製造品 出荷額 (百万円)	付加 価値額 (百万円)	現金給与 総額 (百万円)
平成25年度	24	408	484,404	204,608	88,521
平成26年度	25	369	432,510	178,660	83,818
平成28年度	21	344	454,417	158,222	76,830
令和2年度	22	413	673,305	324,983	103,788

資料：宮崎県の工業

【商店数・従業者数・年間商品販売額・販売面積】

年度			平成 19年度	平成 26年度	平成 28年度	令和 3年度
総数	商店数	(店)	114	84	86	76
	従業者数	(人)	464	383	356	295
	年間商品 販売数	(百万円)	6,833	6,281	6,275	4,439
卸売業	商店数	(店)	9	12	7	8
	従業者数	(人)	58	55	45	59
	年間商品 販売数	(百万円)	1,215	1,272	1,093	1,668
小売業	商店数	(店)	105	72	79	68
	従業者数	(人)	406	328	311	236
	年間商品 販売数	(百万円)	5,617	5,009	5,182	2,771
	売場面積	(㎡)	7,550	6,034	5,552	1,970

資料：宮崎県の商業

【就業者規模別事業所数】

年度	総数		1～4人		5～9人		10～19人		20～29人		30人以上	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
平成21年度	423	2,947	276	580	56	359	43	570	13	299	12	642
平成24年度	384	2,286	258	575	64	409	38	499	15	354	9	449
平成28年度	363	2,311	233	480	68	433	34	470	15	348	13	580
令和3年度	358	2,828	249	594	39	291	35	548	16	391	19	1,004

資料：経済センサス

【家畜飼養農家数、飼養頭羽数】

区分 年次	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		種鶏		地鶏	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
令和元年	10	558	348	10,883	9	14,419	2	18,700	14	766,600	2	9,459	1	8,000
令和2年	8	426	326	10,034	9	15,140	2	18,200	14	771,600	2	9,808	1	8,000
令和3年	7	456	321	11,131	8	15,030	2	20,000	14	770,200	2	9,308	1	7,000
令和4年	7	446	306	11,378	8	14,970	2	19,000	14	767,100	2	10,420	1	8,000
令和5年	7	528	286	11,047	8	12,516	2	19,000	14	755,600	2	10,311	1	8,000

資料：農畜産振興課

【町内の誘致企業】

誘致年度	企業（工場）名	主要製品名	誘致年度	企業（工場）名	主要製品名
昭和46年	九州エス・エム・シー株式会社	合成樹脂かご（コンテナ・育苗箱等）・培養土	平成19年	株式会社芝田スプリング製作所メッキ工業	メッキ加工
昭和59年	株式会社ソディック新横	コネクター	平成22年	株式会社コムテック	繁殖牛及び肥育牛用配合飼料の製造・販売
昭和62年	株式会社アコー宮崎技術研究所・工場	振動計、音響測定器			
昭和62年	株式会社芝田スプリング製作所宮崎工場	スプリング等	平成22年	株式会社ミートインフォメーションネットワーク	食肉加工
昭和63年	有限会社末山商会	観光みやげ製品（菓子類）	平成23年	有限会社四位農園	野菜作農業、冷凍野菜等の製造
平成2年	有限会社竹下商事	婦人服縫製、加工	平成27年	株式会社西安	リサイクルプラスチック買付販売、プラスチック製品の製造
平成4年	サンヨーフラワー温泉	温泉保養施設			
平成9年	大正ポリエチレン株式会社宮崎工場	食品容器（ポリエチレン）製造	平成28年	株式会社西輝物流	一般貨物自動車運送業
平成12年	吉谷工業株式会社細野工場	スポーツ、レジャーシューズ等製造	平成29年	株式会社ビッグハウス	2×4パネルの製造、組立
平成18年	富士産業株式会社たかはるＣＫ事業部	施設給食用カット野菜	平成30年	株式会社高嶺木材	一般建築材の製造
平成18年	有限会社富永精密	金属金型加工・省力化機器部品製作	令和6年	ユタカグループ有限会社すえやま工場	菓子製造
平成19年	株式会社ティーティーシー	電子部品製造			

※令和6年12月末現在。 資料：産業創生課

高原町の学校教育・社会教育

【小学校児童数、学級数、教員数】

区分 年次	校数	児童数（人）							学級数				教員数 （人）
		総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	単式	複式	特別支援	
令和元年度	4	433	70	68	70	78	68	79	27	18	6	3	47
令和2年度	4	446	88	71	68	73	77	69	28	19	6	3	47
令和3年度	4	436	62	87	73	67	73	74	28	19	6	3	47
令和4年度	4	424	65	63	84	75	66	71	28	18	6	4	48
令和5年度	4	415	62	66	62	84	74	67	29	16	7	6	51

資料：宮崎県統計年鑑（宮崎県統計調査課）

【中学校生徒数、学級数、教員数】

区分 年次	校数	児童数（人）				学級数				教員数 （人）
		総数	1年	2年	3年	計	単式	複式	特別支援	
令和元年度	2	220	62	76	82	11	7	1	3	28
令和2年度	2	217	75	63	79	10	7	1	2	27
令和3年度	2	209	68	77	64	10	7	1	2	28
令和4年度	2	210	65	68	77	10	7	1	2	29
令和5年度	2	207	72	67	68	10	7	1	2	28

資料：宮崎県統計年鑑（宮崎県統計調査課）

【中学校卒業後の状況】

区分 年次	卒業者（人）	高等学校等進学者（人）	専修学校等（人）	就職者（人）	左記以外の者（人）	高等学校等進学率 （%）
令和元年度	71	71	0	0	0	100
令和2年度	82	82	0	0	0	100
令和3年度	79	79	0	0	0	100
令和4年度	64	63	0	0	1	98.4
令和5年度	77	75	1	1	0	97.4

資料：宮崎県統計年鑑（宮崎県統計調査課）

【社会教育・社会体育施設一覧】

番号	名称	住所
1	高原町中央公民館	高原町大字西麓392番地
2	“ 図書室	“
3	高原町教育集会所	高原町大字西麓1552番地1
4	高原町総合運動公園サッカー広場	高原町大字西麓709番地9 他
5	“ ふれあい広場	“
6	“ ちびっこ広場	“
7	“ 多目的芝生広場	“
8	高原町中央運動公園	高原町大字広原4952の127
9	高原町民体育館	高原町大字西麓391番地2
10	高原町民体育館分館	高原町大字西麓338番地2
11	旧高原中学校体育館	高原町大字西麓383番地



高原町総合運動公園サッカー広場



令和6年度高原町子ども未来議会

高原町の文化財

【文化財の状況】

文化財は、国指定4件、県指定2件、町指定6件、合計12件が指定されています。年代別にみると、大正時代に1件、昭和時代に3件、平成に入り8件が指定されました。この他、2017年10月に町民体育館分館が昭和初期の建物の大規模な木造洋風建築物として登録有形文化財に登録されました。

詳しくは下の表をご覧ください。

指定区分	種別	文化財名称	所有者	所在地	指定年月日
国	天然記念物	狭野の杉並木	狭野神社	蒲牟田字狭野	大正13年(1924)12月9日
		狭野神社ブッポウソウ繁殖地	狭野神社	蒲牟田字狭野	昭和9年(1934)5月1日
	重要文化財	旧黒木家住宅	宮崎県	宮崎県総合博物館民家園	昭和48年(1973)2月23日
	重要無形民俗文化財	高原の神舞	狭野神楽保存会 祓川神楽保存会	蒲牟田字狭野 蒲牟田字祓川	平成22年(2010)3月11日
	登録有形文化財（建造物）	高原町民体育館分館	高原町	西麓338-2	平成29年(2017)10月27日
宮崎県	史跡	高原町古墳	高原町	皇子原公園内	昭和19年(1944)12月15日
	無形民俗文化財	苗代田祭（ベブがハホ）	狭野神社	蒲牟田字狭野	平成11年(1999)9月27日
町	史跡	日守地下式横穴墓群	高原町	後川内字日守1-118	平成10年(1998)4月1日
		錫杖院墓地	霧島東神社	蒲牟田字祓川	平成13年(2001)12月13日
	有形文化財	広原池の原庚申碑	高原町教育委員会	池の原川堤防	平成10年(1998)4月1日
		長家文書	個人	西麓	平成13年(2001)12月13日
		狭野神楽面（12点）	狭野神楽保存会	蒲牟田字狭野	平成23年(2011)4月1日
	無形文化財	狭野の棒踊り	狭野棒踊り保存会	蒲牟田字狭野	平成10年(1998)4月1日



「高原の神舞」
（狭野神楽）



「高原の神舞」
（祓川神楽）

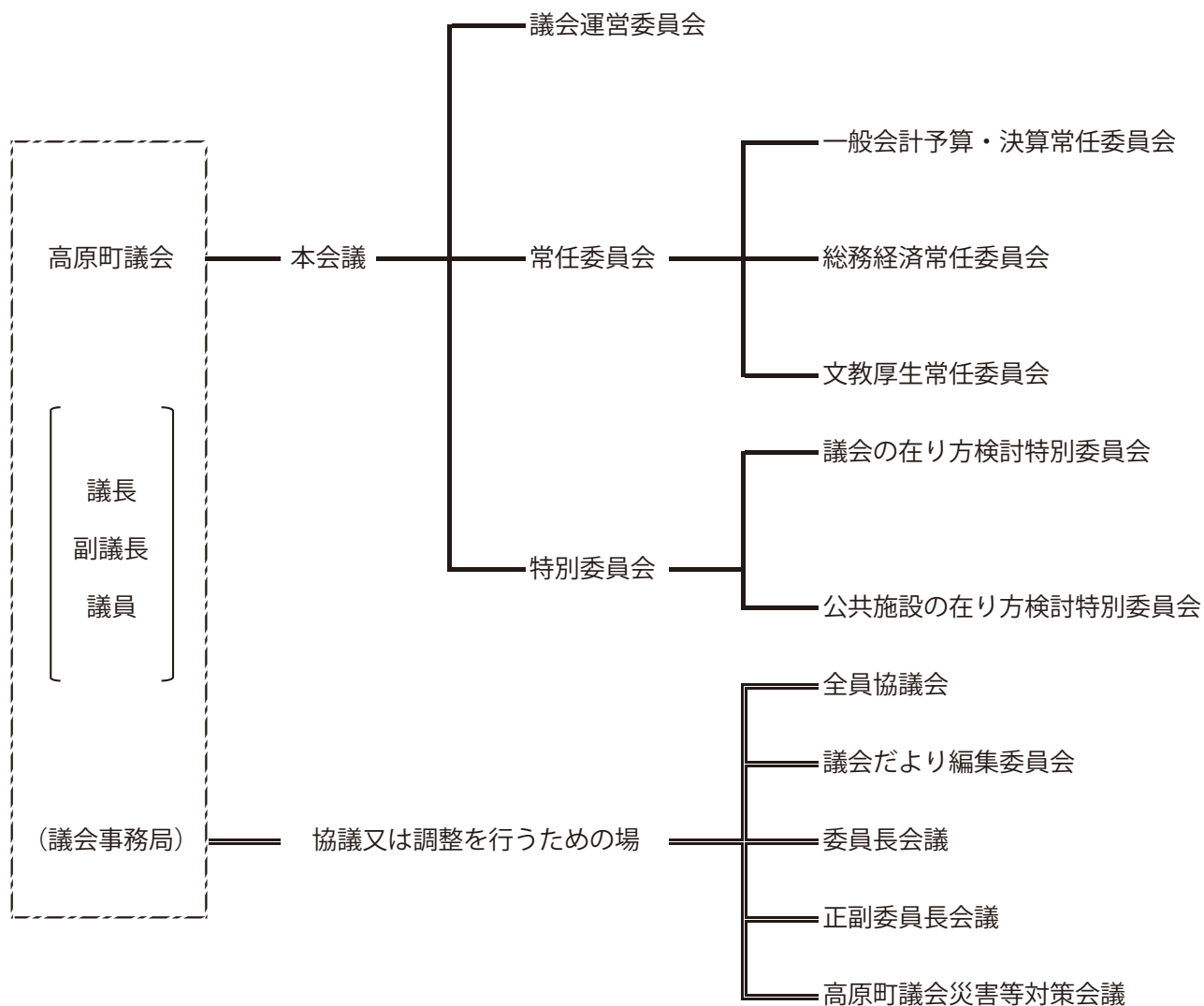


「狭野の棒踊り」

高原町の議会

【議会構成】

条例定数 10名



議会報告会



行政調査



行政調査

【高原町議会歴代議長】

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代～3	林宗太郎	昭和22年6月13日	昭和30年4月29日
4～5	林静二	昭和30年5月1日	昭和32年8月30日
6	末永長助	昭和32年8月30日	昭和33年7月9日
7	前田奨	昭和33年7月9日	昭和34年4月29日
8	林静二	昭和34年5月6日	昭和34年12月17日
9	須波久雄	昭和34年12月17日	昭和36年5月6日
10	東吉正	昭和36年5月6日	昭和38年4月29日
11・12	前田奨	昭和38年5月10日	昭和42年4月29日
13	永峯広信	昭和42年5月13日	昭和43年3月27日
14～16	前田奨	昭和43年3月27日	昭和48年5月1日
17	吉永勇吉	昭和48年5月1日	昭和50年4月30日
18	塩満光義	昭和50年5月8日	昭和51年5月6日

代	氏名	就任年月日	退任年月日
19	下園慶二	昭和51年5月6日	昭和52年4月27日
20	田中良昭	昭和52年4月27日	昭和52年5月7日
21	大迫健康	昭和52年5月7日	昭和54年4月30日
22・23	森山吉次	昭和54年5月9日	昭和57年4月7日
24・25	小久保義雄	昭和57年4月7日	昭和60年5月14日
26	有水稔	昭和60年5月14日	昭和61年1月9日
27	森山吉次	昭和61年1月21日	昭和62年4月30日
28・29	今西二雄	昭和62年5月7日	平成3年4月30日
30	原田清信	平成3年5月1日	平成4年9月22日
31・32	永山重男	平成4年9月22日	平成7年4月30日
33	田口繁義	平成7年5月1日	平成9年4月30日
34	武石邦雄	平成9年5月1日	平成11年4月30日

代	氏名	就任年月日	退任年月日
35	塩入安治	平成11年5月6日	平成12年4月20日
36	盛永友二	平成12年4月21日	平成13年5月1日
37	清水公雄	平成13年5月1日	平成15年4月30日
38	池田正治	平成15年5月1日	平成17年5月2日
39	永友重光	平成17年5月2日	平成19年4月30日
40	入佐廣登	平成19年5月1日	平成21年4月30日
41	北迫泉	平成21年4月30日	平成23年4月30日
42	森山勇	平成23年5月2日	平成25年1月30日
43	前原淳一	平成25年1月30日	平成27年4月30日
44	宮司勲	平成27年5月1日	平成31年4月40日
45	温谷文雄	平成元年5月7日	令和5年4月30日
46	前原淳一	令和5年5月1日	現在に至る

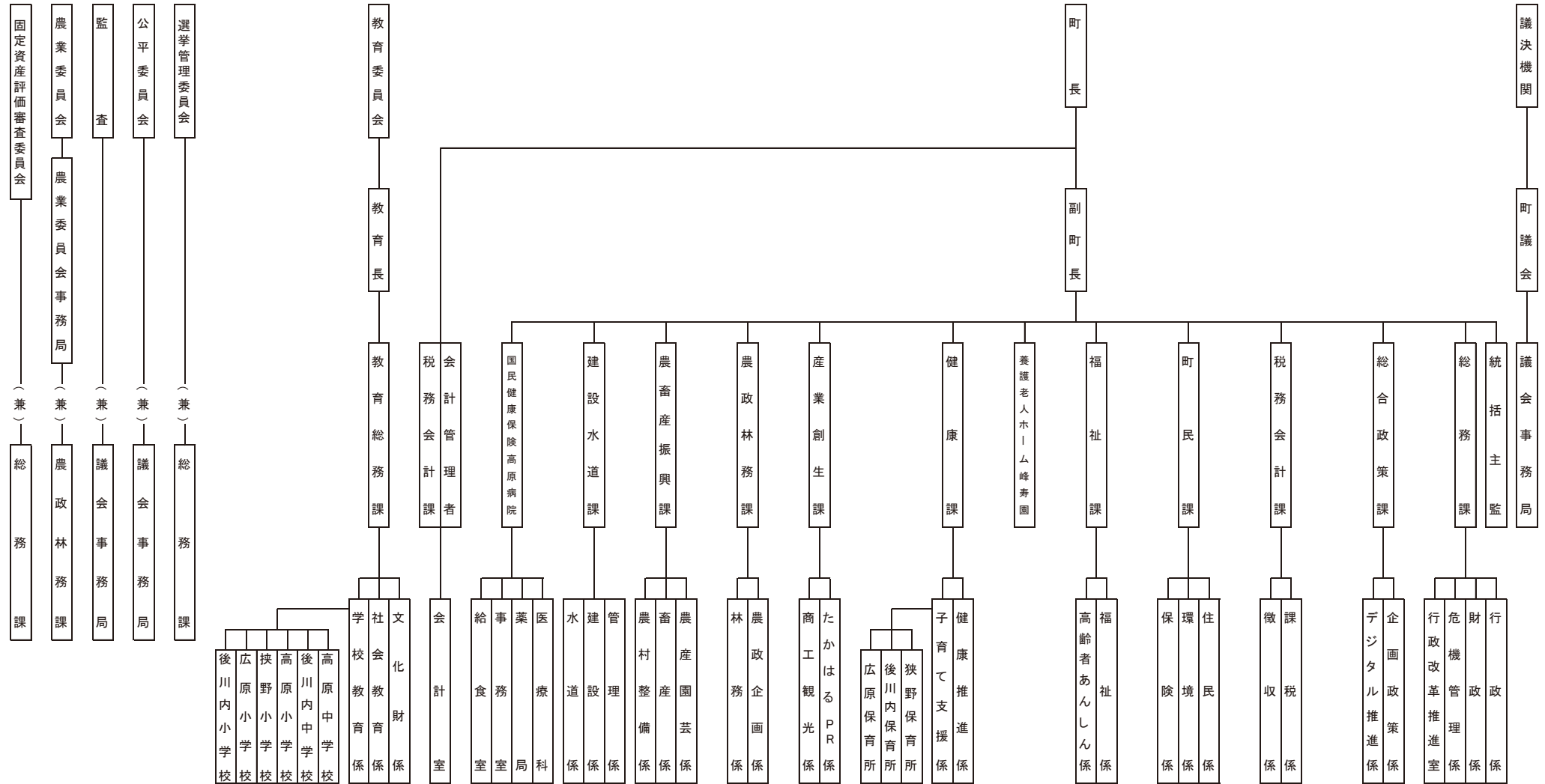
【高原町議会歴代副議長】

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	末永長助	昭和22年6月13日	昭和24年 月 日
2	今西榮次	昭和24年8月8日	昭和26年4月29日
3・4	末永長助	昭和26年5月8日	昭和30年4月29日
5・6	丸山年夫	昭和30年5月1日	昭和32年8月30日
7	上野藏吉	昭和32年8月30日	昭和33年7月9日
8	林静二	昭和33年7月9日	昭和34年4月29日
9	須波久雄	昭和34年5月6日	昭和34年12月17日
10	東吉正	昭和34年12月17日	昭和36年5月6日
11	上野藏吉	昭和36年5月6日	昭和38年4月29日
12	竹之下満盛	昭和38年5月10日	昭和40年5月10日
13	東吉正	昭和40年5月10日	昭和42年4月29日
14	下園慶二	昭和42年5月13日	昭和43年3月27日
15	森山吉次	昭和43年3月27日	昭和44年5月8日
16	吉田二郎	昭和44年5月8日	昭和46年4月30日
17	吉永勇吉	昭和46年5月11日	昭和48年5月1日

代	氏名	就任年月日	退任年月日
18	小久保義雄	昭和48年5月1日	昭和50年4月30日
19	桑原正夫	昭和50年5月8日	昭和51年5月6日
20	下村重義	昭和51年5月6日	昭和52年4月27日
21	日高光徳	昭和52年4月27日	昭和52年5月7日
22	下村重義	昭和52年5月7日	昭和54年4月30日
23	桑原正夫	昭和54年5月9日	昭和56年5月6日
24	田中良昭	昭和56年5月6日	昭和58年4月30日
25	有水稔	昭和58年5月11日	昭和60年5月14日
26	内村芳昭	昭和60年6月27日	昭和60年10月24日
27	日高光徳	昭和60年10月25日	昭和62年4月30日
28・29	田中良昭	昭和62年5月7日	平成3年4月30日
30	永山重男	平成3年5月1日	平成4年9月22日
31	田口繁義	平成4年9月24日	平成5年4月30日
32	田中良昭	平成5年4月30日	平成7年4月30日
33	武石邦雄	平成7年5月1日	平成9年5月1日

代	氏名	就任年月日	退任年月日
34	塩入安治	平成9年5月2日	平成11年4月30日
35	黒木勉	平成11年5月6日	平成12年4月20日
36	日高幸作	平成12年4月21日	平成13年5月1日
37	永友重光	平成13年5月1日	平成15年4月30日
38	丸山敏彦	平成15年5月1日	平成17年1月6日
39	北迫泉	平成17年1月11日	平成17年5月2日
40	勝吉明正	平成17年5月2日	平成19年4月30日
41	清水公雄	平成19年5月1日	平成21年4月30日
42	今西光正	平成21年4月30日	平成23年4月30日
43	清水公雄	平成23年5月2日	平成25年5月9日
44・45	入佐廣登	平成25年5月9日	平成29年4月30日
46	清水公雄	平成29年5月1日	平成31年4月30日
47	松元茂春	令和元年5月7日	令和3年4月30日
48	前原淳一	令和3年5月6日	令和5年4月30日
49	陣圭介	令和5年5月1日	現在に至る

令和6年4月1日現在



【歴代村長】

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	甲斐安	明治22年5月30日	明治24年10月13日
2・3	田口志朗	明治24年11月25日	明治29年4月17日
4	甲斐安	明治29年5月12日	明治32年12月20日
5～8	黒木昌友	明治33年1月13日	大正2年11月12日
9	瀬戸口長通	大正3年7月6日	大正4年8月25日
10	宮田耕造	大正4年9月14日	大正4年11月18日
11	猪俣連	大正5年3月6日	大正9年3月5日
12	橋口源次	大正9年3月6日	大正13年3月5日
13	永山千治	大正13年3月6日	昭和3年3月5日
14	野村嘉久馬	昭和3年3月6日	昭和6年8月26日

【歴代町長】

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代～4	野村嘉久馬	昭和6年9月30日	昭和21年4月2日
職務管掌	川上清	昭和21年5月15日	昭和21年6月24日
5	東政吉	昭和21年6月24日	昭和22年2月14日
6	今西周助	昭和22年4月5日	昭和26年4月2日
7	北迫栄吉	昭和26年4月28日	昭和30年4月30日
8	高妻彦恵	昭和30年5月1日	昭和32年9月12日
9～12	西川嘉次	昭和32年10月15日	昭和48年10月14日
13	今西周助	昭和48年10月15日	昭和52年10月14日
14～18	横田修	昭和52年10月15日	平成9年10月14日
19・20	朝比奈紀行	平成9年10月15日	平成17年10月14日
21～23	日高光浩	平成17年10月15日	平成29年10月14日
24～25	高妻経信	平成29年10月15日	現在に至る

【歴代助役及び副町長】

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	田口志朗	明治22年5月30日	明治22年6月22日
2	宮田正一	明治22年6月26日	明治26年1月29日
3・4	竹之下稔	明治26年2月7日	明治31年2月28日
5	藤田嘉次朗	明治31年4月5日	明治35年4月4日
6・7	永浜安之進	明治35年4月25日	明治43年4月27年
8・9	丸山孫次	明治43年5月26日	大正7年5月25日
10・11	永山千治	大正7年6月7日	大正13年3月5日
12	黒木清次	大正13年3月29日	昭和3月3月28日
13～18	高妻彦恵	昭和3年6月16日	昭和21年11月8日
19	北迫栄吉	昭和22年2月14日	昭和26年3月12日
20・21	西川嘉次	昭和26年5月26日	昭和32年9月30日
22～24	丸山久信	昭和32年10月25日	昭和44年10月24日
25	下園正水	昭和45年2月7日	昭和49年2月6日
26	浜田長文	昭和49年4月1日	昭和52年10月14日
27	丸山元志	昭和52年12月26日	昭和56年12月25日
28～31	西篤彦	昭和57年1月20日	平成9年9月30日
32・33	永田文一	平成9年10月24日	平成17年10月14日
34	山之内点	平成17年11月10日	平成20年3月31日
35	福留宜文	平成20年4月1日	平成24年3月31日
36	永田健一	平成24年4月1日	平成28年3月31日
37	横山安博	平成28年4月1日	平成29年10月14日
38	蒲生隆美	平成29年11月1日	令和3年3月31日
39	横山安博	令和3年5月6日	現在に至る

【歴代収入役】

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	丸山嘉次朗	明治22年6月11日	明治22年8月5日
2	瀬戸口長通	明治22年9月12日	明治25年3月23日
3	黒木仲次朗	明治25年3月26日	明治29年3月25日
4～8	丸山嘉次朗	明治29年3月28日	大正2年11月12日
9・10	福永末吉	大正3年4月13日	大正11年4月15日
11・12	高妻彦恵	大正11年4月16日	昭和3年6月12日
13	黒木三二	昭和3年7月18日	昭和7年7月17日
14～17	北迫栄吉	昭和7年7月18日	昭和22年2月14日
18	押領司光信	昭和22年6月27日	昭和25年12月2日
19	末永栄二	昭和25年12月2日	昭和32年10月22日
20	丸山年夫	昭和32年12月25日	昭和34年4月11日
21～23	下園正水	昭和35年5月2日	昭和45年2月7日
24・25	丸山元志	昭和45年2月7日	昭和52年10月14日
26	原幸夫	昭和53年1月10日	昭和57年1月9日
27	日高実	昭和57年1月20日	昭和61年1月19日
28～30	朝比奈紀行	昭和61年4月1日	平成9年3月31日
31・32	江田支征	平成10年3月12日	平成17年10月14日

【名誉町民】

昭和34年	野村嘉久馬
昭和39年	高妻彦恵
昭和50年	北迫栄吉
昭和58年	西川嘉次
昭和59年	今西周助
平成16年	横田修
平成26年	朝比奈紀行

【普通会計年度別決算額】

歳入

(単位：千円)

区分	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
町	税	786,959	796,362	787,261	821,129	845,331
地 方 譲 与 税		79,744	81,680	82,811	83,620	84,185
利 子 割 交 付 金		341	366	382	149	123
配 当 割 交 付 金		1,831	1,440	2,731	1,954	2,650
株式等譲渡所得割交付金		987	1,733	2,790	1,580	2,896
地方消費税交付金		151,939	189,584	204,836	206,390	205,583
ゴルフ場利用税交付金		2,679	2,785	2,472	2,347	2,416
自動車取得税交付金		7,604	0	4	0	371
自動車税環境性能割交付		2,036	4,183	4,428	4,021	5,270
法 人 事 業 税 交 付 金		0	3,011	7,266	9,885	10,079
地 方 特 例 交 付 金		14,644	6,568	26,827	11,028	10,706
地 方 交 付 税		2,399,827	2,565,086	2,841,618	2,832,886	2,734,013
交通安全対策特別交付金		1,683	1,861	1,687	1,411	1,160
分 担 金 及 び 負 担 金		72,899	65,751	72,175	63,654	154,338
使用料及び手数料		55,267	51,016	54,561	53,781	56,006
国 庫 支 出 金		554,402	1,840,337	1,187,152	1,051,719	961,427
県 支 出 金		1,879,492	803,370	980,220	538,366	772,614
財 産 収 入		61,017	13,239	66,742	55,648	11,482
寄 付 金		195,123	280,919	271,501	471,044	602,245
繰 入 金		914,716	721,872	137,461	352,161	417,811
繰 越 金		48,364	44,231	194,081	97,151	44,137
諸 収 入		136,316	149,855	343,593	151,415	142,747
町 債		529,385	500,712	501,387	382,099	467,066
合 計		7,897,255	8,125,961	7,773,986	7,193,438	7,534,656

歳出

(単位：千円)

区分	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
議 会 費		72,150	71,240	73,124	77,192	73,589
総 務 費		1,169,563	2,127,928	1,626,746	1,416,879	1,495,259
民 生 費		1,687,614	1,717,839	1,965,559	1,971,064	2,028,669
衛 生 費		696,233	521,072	741,304	903,757	669,135
労 働 費		5	2,165	449	2,629	2,916
農 林 水 産 業 費		2,133,492	1,123,804	816,290	588,476	771,365
商 工 費		220,528	562,086	591,658	393,777	411,199
土 木 費		421,032	282,482	324,939	333,572	333,524
消 防 費		223,874	207,118	202,640	204,918	208,042
教 育 費		604,748	623,622	656,599	584,756	589,412
災 害 復 旧 費		5,736	26,509	7,470	62,049	278,572
公 債 費		568,081	615,527	589,950	560,232	574,149
諸 支 出 金		0	488	107	0	0
合 計		7,803,056	7,881,880	7,596,835	7,099,301	7,435,831

資料：総務課

【町税の推移】

(単位：千円)

年度	収入総額	町民税	固定資産税	軽自動車税	たばこ税	その他
令和元年度	786,959	298,686	404,494	42,732	40,387	660
令和2年度	796,362	298,144	410,435	45,018	42,572	193
令和3年度	787,261	305,353	391,224	45,100	45,116	468
令和4年度	821,129	310,408	411,715	45,912	52,436	658
令和5年度	845,331	310,840	431,341	46,153	56,277	720

資料：税務会計課

【特別会計の年度別決算額（歳入・歳出）】

（単位：千円）

区分 \ 年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
住宅新築資金等貸付事業	870	869	990	989	679	679	451	451	203	203
国民健康保険	1,444,476	1,435,872	1,462,008	1,449,601	1,468,656	1,439,483	1,454,521	1,443,786	1,368,862	1,367,093
農業集落排水事業	29,441	25,497	30,675	25,358	33,812	30,362	27,523	24,034	39,532	36,705
介護保険事業 保険事業勘定	1,319,571	1,280,665	1,341,966	1,289,763	1,398,806	1,306,926	1,409,417	1,311,679	1,414,224	1,318,580
介護保険事業 サービス事業勘定	6,328	4,643	7,766	4,516	8,783	8,426	5,748	5,021	6,081	4,596
後期高齢者医療	316,442	309,840	315,861	308,633	300,647	297,347	305,646	304,258	306,507	306,506

資料：総務課

【公営企業会計決算額（歳入・歳出）】

収益的収支（税抜）

（単位：千円）

区分 \ 年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
水道事業	190,013	176,871	192,520	170,041	189,822	174,217	185,855	184,815	182,632	176,923
病院事業	1,014,791	912,304	1,037,726	971,841	1,000,281	1,033,984	1,003,095	936,588	775,777	902,411

資本的収支（税込）

（単位：千円）

区分 \ 年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
水道事業	27,026	103,901	24,752	106,595	26,745	108,155	27,496	108,667	46,984	145,285
病院事業	24,803	63,053	44,280	79,321	42,709	67,340	26,451	51,545	27,833	53,763
工業用水道事業	2,049	2,049	1,979	1,979	1,987	1,987	1,991	1,991	1,995	1,995

資料：総務課

高原町の主なあゆみ

西 暦	年 号	事 項
1553	天文 22年	高原郷は北原氏の領有となる。
1555	天文 24年	高原郷は伊東氏の領有となる。
1576	天正 4年	島津氏が高原城を攻略する。
1601	慶長 3年	島津義弘の命で新納武蔵守忠元が狭野杉を植栽する。
1612	〃 17年	高原郷より東霧島・江平を高城郷に移した。
1680	延宝 8年	高原郷より、前田村・大牟田村・縄瀬村を割き高崎郷とした。 小林郷より広原村を野尻郷より水流村を高原郷に付けた。
1869	明治 2年	高原学校（高原小学校の前身）が地藏院跡に開設
1870	〃 3年	高崎郷がまた高原郷に合併
1871	〃 4年	廃藩置県により高原郷は鹿児島県に属した。その後、都城県に属する。 高原小学校が地頭仮屋跡（今の遍照寺のところ）に移転
1873	〃 6年	都城県を廃して宮崎県となる。 狭野小学校を字前野に開設
1874	〃 7年	後川内小学校を字石ヶ野に開設 広原小学校を字八久保に開設
1876	〃 9年	地租改正のため郷内の検地が行われた。 宮崎県が廃して再び鹿児島県に属した。
1883	〃 16年	宮崎県が再置され、高原郷は宮崎県北諸県郡に属した。
1884	〃 17年	西諸県郡が誕生し、高原郷もこれに属した。 （郡役所は小林）
1888	〃 21年	市制・町制が公布された。
1889	〃 22年	町村制が公布された。 5月1日に高原村が誕生（西麓村・後川内村・蒲牟田村・広原村は大字となった。） 戸長制を廃し、村長・助役制となる。
1913	大正 2年	宮崎線小林～谷頭間開通に伴い高原駅が開業

西 暦	年 号	事 項
1913	大正 2年	村内の中央部に電灯がつく（猿瀬発電所設立）。
1916	〃 5年	宮崎本線 吉松～宮崎開通
1917	〃 6年	高原小学校が現在地に移転
1918	〃 7年	村内小学校に農業補習学校を併設 日豊本線より吉都線に分離
1919	〃 8年	広原小学校現在地に移転 蒲牟田尋常小学校を狭野小学校に改称
1920	〃 9年	宮崎県種畜場が並木に創設
1925	〃 14年	後川内小学校に高等科設置
1927	昭和 2年	村内に電話が架設
1930	〃 5年	後川内小学校が現在地に移転
1932	〃 7年	経済厚生村の指定
1933	〃 8年	狭野小学校が現在地へ移転
1934	〃 9年	霧島国立公園指定 高原村役場改築（9月30日）。総工費2万3千余円をかけ内容外観ともに日本一を誇った。 高原町町制施行（10月5日） 仏法僧（ブッポウソウ）が天然記念物に指定
1935	〃 10年	町制施行を記念して高原郷土史を発行 青年訓練所・農業補習学校を廃し、青年学校を発足
1936	〃 11年	高原小学校講堂建設（現在の町民体育館分館）
1938	〃 13年	祖国振興隊が結成
1941	〃 16年	町内各小学校はそれぞれ国民学校と改称
1944	〃 19年	沖縄県那覇市より集団疎開児童158人が町内各小学校に到着、町内各国民学校で疎開生活に入る。 高原古墳（皇子原）県史跡に指定

西 暦	年 号	事 項
1947	昭和 22年	教育基本法・学校教育法制定により町内の国民学校はそれぞれ小学校と改称 高原中学校開校（後川内分校）。高原町消防団結団
1948	// 23年	高原町警察署開庁。開拓道路建設
1950	// 25年	上水道水源地工事に起工。後川内中学校独立 常盤台分校を開校。広原郵便局開局。町立病院開院
1951	// 26年	自治体警察署廃庁。
1952	// 27年	町教育委員会発足（公選委員）。県立高原畜産高校設置
1953	// 28年	高原畜産高等学校開校。鹿児島水道建設
1954	// 29年	広原簡易水道新設。町制施行20周年記念 後川内道路建設。
1955	// 30年	霧島集約酪農地域指定。
1956	// 31年	都市下水道事業着手（昭和42年完了）。 教育委員が任命制となる。高原町・野尻町間にバス開通
1957	// 32年	上水道第一次拡張事業（蒲牟田地区） 狭野簡易水道新設。温水平簡易水道建設 後川内方面へのバス開通（高原駅～東原間） 都市下水道事業に着手。後川内郵便局開局
1958	// 33年	高原中学校本館建設。東原橋建設。川平水道建設 かんがい排水事業着手（7,754m）
1959	// 34年	町制25周年記念果樹植栽（柿） 御池キャンプ村開設。新燃岳噴火（2月17日）
1960	// 35年	町社会福祉協議会開設 第一次防災営農事業着手（昭和39年完了） 基盤整備事業着手。高原町商工会設立
1961	// 36年	高原中学校校舎改築。御納戸橋建設 南九州防災営農対策事業着手（昭和39年完了）
1962	// 37年	吉都線に広原簡易駅開業。町章を制定 第一次農業構造改善事業着手（花堂・蒲牟田地区）

西 暦	年 号	事 項
1963	昭和 38年	小規模草地造成改良事業着手（昭和39年完了） 総合実験農場設置事業（鹿児島山地区） 高原小学校二階建校舎改築（10教室）
1964	// 39年	町制30周年を記念して町民歌・高原音頭制定 高原中学校特殊学級開設。町民体育館建設 霧島国立公園に屋久島地区を加え霧島屋久国立公園と改称
1965	// 40年	肉用牛振興地域指定 酪農近代化計画推進事業認定 第二次防災営農推進事業着手（昭和44年完了） 駅前街路建設着手、延長404m、幅16m（昭和45年完了）
1966	// 41年	後川内小学校・中学校体育館建設。狭野郵便局開局 常盤台小学校独立。狭野小学校校舎改築 農村地域集団電話第一次設置（279台）
1967	// 42年	農村保全事業着手。常盤台小学校増改築 町道を失業対策事業により簡易舗装着手 町立病院診療棟改築 上水道第三次拡張事業（下広原地区）
1968	// 43年	広原小学校体育館新築。高原中学校校舎改築 南九州畑作振興地域指定
1969	// 44年	狭野保育所開設。下川原橋・湯之元橋架替 柳町公営住宅建設（12戸）。狭野小学校体育館新築 第一次農業構造改善事業（中平地区） 後川内中学校校舎新築 寝たきり老人ホームヘルパー制度発足
1970	// 45年	後川内小学校校舎改築 九州縦貫道小林～高原間路線発表 高原小学校二階建校舎改築（10教室） 中央公民館新築。町道舗装工事開始

西 暦	年 号	事 項
1970	昭和 45年	農村地域集団電話第二次設置（1,076台）
1971	〃 46年	狭野児童館開設。後川内保育所開設 高原町養護老人ホーム（峰寿園）建設 果樹広域濃密生産団地指定。野菜新産地指定（里いも） 新農業振興計画推進事業着手。後川内簡易水道新設 上水道第四次拡張事業 配水500m ³ バンチュリー工事（湯之崎地区） 高原町総合計画策定（基本構想） 過疎地域指定され過疎地域振興計画策定 小林えびの西諸広域市町村圏計画策定
1972	〃 47年	老人福祉館開設。高原中学校特別教室改築 乳用牛改良促進特別対策事業 ハイレベル10頭 飼料基盤特別対策事業着手（昭和48年完了） 農業振興地域整備事業着手（昭和48年完了） 集約酪農振興地域指定。西諸広域消防南分遣所開設
1973	〃 48年	肉用牛生産振興地域指定。高原中学校体育館新築 町木タチバナ、町鳥仏法僧、町花キリンマツツジを指定 狭野小学校管理棟4教室改築。役場庁舎新築移転 常盤台小学校廃校、高原小学校へ統合 町立病院第一病棟（一般病棟26床・結核病棟36床）改築 祓川・湯之元地区簡易水道新設 三栄（株）操業開始
1974	〃 49年	母子健康センター建設。町都市計画用途地域の決定 広原保育所開設。（株）モードサイガ操業開始
1975	〃 50年	西広原地区簡易水道給水開始
1976	〃 51年	霧島美化センター事務組合設立（高原町、野尻町、須木村） 霧島美化センターごみ焼却場建設工事着工 九州縦貫自動車道えびの～高原間29km開通
1976	〃 51年	野菜新産地指定（ピーマン）。皇子原国民釣り場開設。
1977	〃 52年	小林・野尻・高原衛生事業事務組合設立

西 暦	年 号	事 項
1977	昭和 52年	小林・野尻・高原衛生事業事務組合し尿処理場建設着工 霧島美化センターごみ焼却場完成 九州ユービー（株）操業開始
1978	〃 53年	後川内中学校体育館新築。並木児童館建設 小林・野尻・高原衛生事業事務組合し尿処理場完成
1979	〃 54年	農村基盤総合整備事業着手（後川内地区） 新農業構造改善事業着手（川平地区、昭和57年完了） 肉用牛生産振興地域指定。川西産業（株）操業開始 宮崎高原町友会発足
1980	〃 55年	農村基盤総合整備事業着手（入木地区） 高原町新総合計画策定。高原町過疎地域振興計画策定 新西諸広域市町村圏計画策定
1981	〃 56年	農村総合整備計画策定 九州縦貫自動車道宮崎線全線開通 並木・出口線街路及び道路改良事業着手
1982	〃 57年	農村総合整備モデル事業実施計画策定 狭野地区児童プール建設。高千穂都市下水路完成 農免道路（高塚地区）着手
1983	〃 58年	新農業構造改善事業着手（湯之元地区） 杉山製作所誘致。阿野良地区排水路建設 皇子原いこいの広場建設計画策定 農村総合整備モデル事業着手
1984	〃 59年	西諸広域葬祭センター建設着手（昭和59年完了） 高原小学校体育館完成 町制施行50周年式典（10月6日）
1984	〃 59年	新農業構造改善事業着手（下広原地区） 皇子原公園第一期工事着手。高原町民憲章制定 高原町出身蒲池猛夫選手ロサンゼルスオリンピックピストル射撃で金メダル
1985	〃 60年	高速バス「はまゆう号」高原インター停車開始

西 暦	年 号	事 項
1985	昭和 60年	タイムカプセル「霧島」役場庭に埋設 活力ある郷土づくり町民会議発足 下後川内農村休養センター建設。(株)ロック操業開始
1986	// 61年	国鉄バス高原駅～下後川内線廃止 防災行政無線通信施設設置。県営高塚農免道路完成 県高校新人駅伝競走大会小林～高原間で初開催 (株)KHS操業開始
1987	// 62年	上町都市下水事業。南九州中部地域振興協議会発足 畜産振興センター建設(出口地区) 西ドイツスポーツ少年団と国際交流を図る。
1988	// 63年	霧島北部広域農通(祓川入口)着手 町立病院にコンピューター導入。(株)アコー操業開始 高齢者工芸センター建設。(有)末山商会操業開始 花堂むらおこしセンター建設 (有)芝田スプリング製作所操業開始 都城地区「高原会」発足(8月) 関西高原町友会発足(9月) 九州エス・エム・シー(株)操業開始
1989	平成 元年	高原町置村100周年。役場庁舎南側増築 高原派出所高原駅より現在地へ移転新築 フルリレーマラソン世界記録達成(1時間55分09秒) 高原町が全国優良町として表彰 建設省砂防ゾーン創出事業(たかはる清流ランド)着工(平成8年7月完成)
1989		簡易人間ドック助成事業開始 (有)よしたにクロージング操業開始
1990	// 2年	第三次総合計画策定 過疎地域福祉交通特別対策事業 乗合タクシー運行開始 第1回神武の里総合武道大会開催(剣道、柔道、四半的弓道、弓道、空手道の5種目) 養護老人ホーム峰寿園完成(5月18日)

西 暦	年 号	事 項
1990	平成 2年	高原町身体障害者共同作業所完成 (有)竹下商事レディースファッション操業開始
1991	// 3年	合併浄化槽の補助事業開始。町立病院にリハビリ棟完成 新燃岳臨時火山情報発令(11月13日) 鹿児島山農業構造改善センター完成 中平農免農道着工。(株)フィート操業開始
1992	// 4年	農業集落排水事業着手(広原北部地区) 生涯学習モデル市町村として文部省指定 県営水環境事業着工(北狭野小路地区) 高原小学校コンピュータ棟完成 サンヨーフラワー温泉操業開始 宮崎フリーウェイ工業団地造成事業の基本協定調印 教育文化ゾーン整備事業着手 狭野小学校体育館完成(2月) 広原小学校コンピュータ室完成(3月) 県立高原畜産高等学校が県立高原高等学校に校名変更
1993	// 5年	皇子原公園オープン記念式典(4月27日) 皇子原公園オープン記念イベント(8月28日) 狭野小学校コンピュータ室、図書室完成(12月) 後川内小学校コンピュータ室、音楽室完成(12月)
1994	// 6年	広域消防南分遣所改築 神武大橋全長109m、幅員8m完成 在宅老人デイサービス運営事業開始 町制施行60周年記念式典(10月5日) 宮崎フリーウェイ工業団地建設推進協議会設立
1995	// 7年	出口農業構造改善センター完成 上広原、上後川内多目的活動施設完成 農業構造改善事業着手(出口区、平成8年完了) 農業集落排水処理施設完成(広原北部地区)

西 暦	年 号	事 項
1995	平成 7年	終戦50周年記念戦没者慰霊碑建立（忠霊塔）
1996	〃 8年	蒲牟田橋、全長60m・幅員10m災害復旧工事完了 老人デイ・ケア施設豊寿館オープン 関東高原町友会発足（5月）。国営西諸畑かん事業着手 高原町出身プロボクサー本田秀伸選手日本ジュニアフライ級（現日本ライトフライ級）チャンピオン 県営担い手育成基盤整備事業着手（湯之元地区）
1997	〃 9年	宮崎フリーウェイ工業団地造成事業着手 高原中学校校舎教育文化ゾーンに新築移転完成 秋川神楽殿完成。大正ポリエチレン（株）操業開始 霧島北部広域農道供用開始
1998	〃 10年	高原中学校体育館・プール新築移転完成 高原町女性団体連絡協議会発足（5月） 県営ふるさと農道緊急整備事業着手（川平地区）
1999	〃 11年	高原中学校弓道場完成。後川内小学校体育館完成 宮崎フリーウェイ工業団地造成完了（3月） 県営担い手育成整備事業完了（湯之元地区） 苗代田祭（バブがハホ）が宮崎県無形民俗文化財に指定 町制施行65周年記念事業、町民総合スポーツレクリエーション大会開催 町制施行65周年記念式典開催
1999	〃 11年	後川内中学校創立50周年記念式典開催 狭野杉植栽400年記念式典開催
2000	〃 12年	宮崎フリーウェイ工業団地に（有）旭ミールサービスが進出 高原ライオンズクラブ結成30周年記念式典開催 高原駅を全面改築、竣工記念式典開催 吉谷工業株式会社操業開始。高原町第四次総合計画策定 霧島美化センター事務組合一般廃棄物最終処分場建設着手 猿瀬橋架け替え工事完了、開通記念式典開催
2001	〃 13年	県営ほ場整備事業担い手育成型着手（狭野地区）

西 暦	年 号	事 項
2001	平成 13年	町優良肉用牛保留奨励事業100頭目達成 町総合保健福祉センター建設に着手。並木出口線開通 町ホームページ開設。中平公民館完成 高原高等学校が韓国の発安農生命産業高等学校と姉妹校結縁 高原小学校新プール完成
2002	〃 14年	町総合保健福祉センターほほえみ館開館 ふるさと農道緊急整備事業川平地区完成 蒲牟田活性化センター完成。後川内小学校新プール完成 霧島美化センター事務組合一般廃棄物最終処分場完成 高原町赤十字奉仕団結成40周年 町優良肉用牛保留奨励事業200頭目達成 高原中学校が韓国大川中学校と姉妹校結縁 町総合保健福祉センターほほえみ館大研修ホール建設着手 プロボクサー本田秀伸選手世界タイトルマッチに挑戦 第1回霧島登山マラソン大会開催 町営住宅霧島団地新築完成
2003	〃 15年	西諸地域市町村任意合併協議会設立 狭野神楽が宮崎県無形民俗文化財に指定 ひむか神話街道開通（天の岩戸神社～皇子原公園） 宮崎県立専門高校を高原町に誘致する決起大会開催 町優良肉用牛保留奨励事業300頭目達成 町総合保健福祉センターほほえみ館神武ホール完成
2004	〃 16年	高原町商工会移転新築完成 小林市・野尻町・須木村・高原町合併協議会設立 狭野簡易水道と町上水道が統合 第12回大淀川サミットが本町で開催 町制施行70周年記念式典開催 町制施行70周年記念神武の里たかはる町民大運動会開催

西 暦	年 号	事 項
2004	平成 16年	過疎地域福祉交通特別対策事業乗合タクシー役場～小久保線運行開始 第27回宮崎県育林祭開催（皇子原公園） 町優良肉用牛保留奨励事業400頭目達成 広原小学校PTA文部科学大臣賞受賞 法定合併協議会「東霧島合併協議会」を野尻町と設立
2005	〃 17年	Jリーグザスパ草津（J2）本町で春季キャンプ（18年まで） 高原町議会、野尻町との合併関連議案否決 西広原活性化センター完成 第34回宮崎県耳の日記念大会を本町で開催 花堂区集落営農組合設立（5月） 営農基盤整備事業湯之元地区完成 20数年ぶりに後川内夏祭り復活開催 第33回宮崎県子ども会育成大会を本町で開催 第38回宮崎県レクリエーション祭が本町で開催（グラウンドゴルフ競技）
2006	〃 18年	宮崎フリーウェイ工業団地に富士産業株式会社が進出 町立病院改築工事着工（平成19年完成、診療開始） 町まちづくり検討委員会を設置、開催、報告書提出 全国学校ビオトープコンクール2005発表会で後川内小学校が奨励賞受賞 霧島狹野原営農組合、狹野営農組合、湯之元営農組合設立（3月） 本町出身吉田健司選手がボクシング日本フライ級タイトルマッチで第50代チャンピオン（2度の防衛成功） 町優良肉用牛保留奨励事業500頭目達成 湯之元土地改良区が農用地等集団化推進優良地区として農林水産大臣表彰を受賞 県営経営体基盤整備事業宇都地区着工 大谷工業団地に有限会社富永精密が進出 特定非営利活動法人日本で最も美しい村連合に加盟 第55回全国青年大会フットサル競技で本町青年団が準優勝 蒲牟田営農組合、宇都営農組合設立（12月）

西 暦	年 号	事 項
2007	平成 19年	ふるさと林道皇子原夷守台線開通 たかはるふるさと大使に13名委嘱 株式会社ティーティーシーが広原に進出 全国和牛能力共進会（鳥取県）県代表として入佐久男氏 が出品。第7区総合評価群優等賞首席、日本一を獲得 第1回環霧島会議開催（霧島市） 第56回全国青年大会野球競技で本町青年団が初優勝 中平農免農道開通。広原営農組合設立（4月）
2008	〃 20年	宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社芝田スプリング製作所が進出 小林市・高原町・野尻町合併協議会設立（4月） 農事組合法人はなどう設立（5月） 宮崎県総合防災訓練が町総合運動公園を主会場に実施 大谷工業団地に有限会社昇蒲金属工業が進出 全国高等学校総合体育大会重量挙げ105kg超級で本町鹿児島山在住下村裕太氏（小林秀峰高校）が優勝 高原町産種雄牛神之郷号誕生 霧島ジオパーク推進連絡協議会発足 健康日本21推進高原大会開催 関西高原町友会が設立20周年
2009	〃 21年	小林市・野尻町・須木村・高原町合併協議会廃止 第4回環霧島会議、環霧島広域連携シンポジウムを本町で開催 景観行政団体に参画。農産直売所社の穂倉オープン 町制施行75周年記念式典開催 町制施行75周年記念水と緑と神話の里大運動会開催 南狹野活性化センター完成 第22回全国スポーツレクリエーション祭「スポレクみやざき2009」のグラウンドゴルフ競技が本町で開催 祓川神楽と狹野神楽が「高原の神舞」として国重要無形民俗文化財に指定
2010	〃 22年	

西 暦	年 号	事 項
2010	平成 22年	上後川内・川平営農組合設立（2月） 下後川内営農組合設立（2月） 常盤台活性化センター完成。北狭野神武ふるさと館完成 宮崎県内で口蹄疫発生（4月20日）、終息（8月27日） 霧島ジオパークが日本ジオパークとして認定 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社コムテックが進出 第18回バイブスミーティングin宮崎が本町で開催 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社ミートインフォメーションネットワークが進出 2011
〃	23年	新燃岳52年ぶりの大噴火（1月26日）、避難勧告発令（1月30日）、避難勧告全面解除（2月15日） 宮崎フリーウェイ工業団地に有限会社四位農園が進出 BTVケーブル株式会社とブロードバンド施設の賃貸借に関する契約締結 県営畑地帯総合整備事業（鹿児島山地区）事業着手 2012
〃	24年	JR吉都線開業100周年。高原町第五次総合計画策定 高原町情報局たかはる神武スタジオ開局 平成24年全国広報コンクールで広報たかはる3月号が組み写真部門で1席に入選 町ゆるキャラ「たかぼー」「はるちゃん」着ぐるみ完成 ビール「穂倉金生」がインターナショナルビアコンペティション2012のジャーマンピルスナー部門で金賞受賞 日本で最も美しい村連合2012フェスティバルin高原開催 新燃岳噴火百人の記録を編さん。県立高原高等学校が閉校 2013
〃	25年	高原地区学校支援地域本部「平成24年度優れた地域による学校支援活動」文部科学大臣表彰を受賞 高原駅開業100周年、記念事業実施 子育て支援センター開所。高原町スポーツ賞創設 町種雄牛「義美福」誕生 県営畑地帯総合整備事業（後川内地区）事業着手 2014
〃	26年	第1回日本発祥地まつり開催 「ディスカバー農山漁村の宝」の優良事例に農事組合法人はなどうが選定

西 暦	年 号	事 項
2014	平成 26年	日本三奇観光パートナーシップ協定書締結（宮城県塩竈市「四口の神竈」、兵庫県高砂市「石乃寶殿」、高原町「天之逆鉾」） 小塚活性化センター完成 町制施行80周年記念式典開催（10月5日） ソラシドエア機体活用プロジェクトを活用して「霧島山のふもと たかはる号」を1年間就航 町ご当地ナンバープレート交付開始 高原町地域公共交通総合連携計画策定 第1回高原町長旗争奪中学生剣道大会開催 2015
〃	27年	第5回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会町村の部で初優勝 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社西安が進出 新嘗祭献穀式に農事組合法人はなどうが献上 高原町人口ビジョン、総合戦略策定 高原町ふるさと納税リニューアル 2016
〃	28年	鹿児島出身女子プロゴルファー大迫たつ子さん宮崎県県民栄誉賞受賞 児童養護施設「石井記念神武の家」開所 農事組合法人ハイランドきりしま設立（6月） 町鳥「仏法僧」30年ぶりに飛来確認 議会イントラネット中継開始。乳幼児一時預かり事業開始 井ノ原遺跡、川路山遺跡本調査 高原町教育振興基本計画策定 2017
〃	29年	町移住定住PR動画「God Walk in takaharu」完成 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社西輝物流が進出 皇子原大橋完成（橋長41m、幅員5m） 馬登二葉営農組合設立（7月） 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社ビッグハウスが進出 6年ぶりに新燃岳噴火（10月11日） 町民体育館分館が国登録有形文化財に登録

西 暦	年 号	事 項
2017	平成 29年	女性消防団員誕生 高原町商工会が中小企業庁長官表彰を受賞
2018	// 30年	農事組合法人はらいがわ設立（7月） 井ノ原遺跡で縄文時代早期の首飾りが出土 国営土地改良事業西諸一期地区（ダム）事業完了 学校給食費半額補助開始
2019	// 31年 令和 元年	霧島ジオパークが日本ジオパークに再認定 新元号発表・御代替わり奉祝 高千穂峰登山会（4月1日、5月1日） 高原町手話言語条例施行 高原町健康づくり推進条例施行 農事組合法人まのぼり二葉設立 宮崎県立看護大学と保健・医療・福祉・教育・学術など包括連携協定を締結 宮崎フリーウェイ工業団地に高嶺木材が進出 たかはる自然エネルギー利用推進協議会設立 町制施行85周年記念式典開催 町無料職業紹介所開設 フルリレーマラソン開催 高原町子ども未来議会開催 並木公民館完成
2020	// 2年	Smart Wellness City首長研究会入会 第96回東京箱根間往復大学駅伝競走大会で東洋大学の今西駿介選手が第6区で区間新記録 中央運動公園遊具がリニューアル 鹿児島山地区おてらん場展望台完成 日本初の市町村単独事業継承マッチングサイト開始
2021	// 3年	高原町食生活改善推進協議会が厚生労働大臣表彰受賞 高原駅待合室リニューアルオープン 宮崎フリーウェイ工業団地に宮崎県森林組合連合会高原林産物流通センター完成

西 暦	年 号	事 項
2021	令和 3年	光ケーブルの整備開始 新型コロナウイルスワクチン接種開始 皇子原公園神武の館をリニューアルし木育遊具施設「おうじばるの木」が完成 県内初のPa y Pay(株)と連携しキャッシュレス促進事業を実施 特定非営利活動法人日本で最も美しい村連合を退会 霧島美化センター事務組合解散
2022	// 4年	奥霧島地域商社ツナガルたかはる(株)設立 高原町第六次総合計画策定 台風14号の土砂崩壊で水道施設が被災し、3,304世帯が断水 皇子原公園屋根付き大型木育遊具「もーりい」完成 霧島ジオパークがエリア拡大認定
2023	// 5年	高原駅開業110周年、記念事業実施 高原町社会福祉法人連絡協議会設立 高原町小中一貫教育校方針決定 宮崎県畜産共進会乳用種種牛の部で合同会社石山牧場がグラ ンドチャンピオンを獲得
2024	// 6年	高原町地域公共交通計画策定 北きりしま広域観光推進協議会設立 たかはる・たちばな特産品コンテスト開催 たかはるまると交流会開催 皇子原公園プロジェクションマッピング「TAKAHARU360」が完成 2027年国民スポーツ大会「アーチェリー競技」の本町開催が正式決定 宮崎県畜産共進会肉用種種牛の部で内村芳照さんがグランド チャンピオンを獲得 町制施行90周年記念式典開催 町制施行90周年記念事業みんなで参加！学校区世代間交流大会開催

高 原 町 民 憲 章

わたしたちは、高千穂の峰をはじめとする美しい自然の中に生き、住み良く、豊かで、
生きがいのある郷土を築くため、この憲章を定めます。

- 一．雄大で美しい郷土を愛しみんなでこれを守りましょう
- 一．心身ともに健康で明るい家庭をつくりましょう
- 一．豊かな教養を身につけみんなで文化を築きましょう
- 一．互いに助け合い平和で明るい町をつくりましょう
- 一．働くことに誇りを持ち豊かな町に育てましょう

昭和59年8月1日 制定

高原町のマスコットキャラクター



たかぼー

はるちゃん



町旗



町シンボルマーク



町花『みやまきりしま』



町木『たちばな』



町鳥『ぶっぼうそう』